

令和5年5月8日

知覧特攻基地戦没者慰霊祭にて

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

5月3日、知覧特攻基地戦没者慰霊祭に参列させていただきました。

私は大学時代に哲学ゼミに在籍していました。卒業論文のテーマを「特攻隊員の死生観」と設定し、特攻隊員の想いを様々な文献や手記、遺書などから考察しました。また、実際に知覧特攻平和記念会館や特攻にまつわる史跡等、夏休みを利用して巡回しました。特攻隊員にとって知覧での母と敬慕された鳥濱トメさんが御健在の時でしたので、貴重な体験談を直接お聞きする機会にも恵まれました。

戦没者慰霊祭に参列させていただき、貴重な体験をしたあの大学時代の暑い夏の日や平和な世の中を継承していくことの責任を強く感じました。ウクライナ情勢等、世界では戦火が絶えません。大人と呼ばれる人々の責務を改めて考えさせられる慰霊祭でした。平和の尊さを子どもたちにも語り継ぎ、深く考えさせていきたいと思います。そして、国際平和に貢献できる日本人に成長してくれることを切に願っています。

令和5年5月15日

毎日感謝の日に

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

5月14日は母の日でした。定番の生花と勤務地の特産品である新茶を携えて、鹿児島市の実家に行きました。

実家では高齢である母親のことを考慮し、マスクを着用しての短い時間の滞在となりました。特に何を語るわけでもないのですが、ただ「今日は母の日だね。いつもありがとう。」と、自分でも驚くほど素直に感謝の言葉を口にすることができました。母も「今日は母の日なのね。わざわざありがとう。」と、はにかみながらも涙声の返事が戻ってきました。短い時間の短い会話ではありましたが、なんとなく心穏やかな優しい気持ちになれました。

日頃、感謝の気持ちを抱いていても「ありがとう」のたった五文字の言葉がなかなか言えないものです。感謝の言葉は生ものに例えられます。早く言わないと鮮度が落ちてしまいます。その都度、タイミングを逃すことなく言えるようになりたいものです。毎日感謝の日にしないといけないなと反省する母の日でもありました。

令和5年5月24日

不審者対策も台風同様備えが必要

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

本日、全国警備保障会社やこども110番の家の方々をお招きし、不審者対応訓練を実施しました。毎年実施している訓練ではありますが、子どもたちや職員にとって、日頃の危機管理や避難行動等について、改めて深く考えるよい機会となりました。

台風対策は天気予報等で事前に対応可能ですが、不審者の侵入は予測不可能な事態です。常日頃から対応マニュアルの確認や改善、共通理解と共通実践、連絡体制の手順や関係機関との連携のあり方等について、再確認する必要性を感じました。

万が一に備え、登下校中や休日における対応等についても、訓練で学んだことを実生活に生かしてほしいと思います。各御家庭でも避難行動の「いかのおすし」の実践について、再度確認されてください。特に大声を出して逃げることを最優先させてください。

不審者の見極めはとても難しいことです。しかし、日頃から誰に対しても気持ちのよい挨拶を実践することは、防犯上も必要なことなのかもしれません。

令和5年5月26日

楽しいプール掃除

南九州市立霜出小学校
校長 石川 雅実

昨日は7名の保護者の方々と職員で、本日は4～6年生の子どもたち、職員、2名の保護者の方々とプール掃除を行いました。おかげさまで見違えるほどきれいになりました。

保護者の方々には、高圧洗浄機を用いて作業をしていただきました。参加された保護者の方々から「プール掃除、久しぶりです。掃除が面白くなってきました。」「校長先生、大人の水遊びですね。」と、会話も弾みました。予定していた終了時刻よりも早く終了することができました。参加された方々の笑顔に象徴されるように、とても楽しいプール掃除になりました。

本日はプール掃除の総仕上げを行いました。昨日の掃除のおかげで、効率よく安全にプール掃除を終えることができました。子どもたちも楽しそうに活動していました。

来月から始まる水泳学習では、楽しく安全に、泳力や気力の向上に励んでほしいと思います。お手伝いいただきました保護者の皆さま、御協力、誠にありがとうございました。